

2022年8月19日

各関係機関の長 殿

大阪医科薬科大学
学長 佐野 浩一
(公印省略)

大阪医科薬科大学薬学部教員（薬物治療学Ⅰ研究室）の公募について

1. 募集内容

薬物治療学Ⅰ担当教授 1名
着任時期 2023年4月1日（予定）

2. 応募資格

病態・薬物治療学関連分野の教育に強い意欲を有し、教授としての優れた見識を有する者で、薬学部及び大学院薬学研究科における教育・研究に関して明確な理念と指導能力を有する者。また、病態・薬物治療学関連分野（ただし、中枢神経疾患領域以外）において、これまでに独創的な研究を行い、顕著な業績（特許を含む）をあげており、今後もこれらの分野の発展に寄与できる者。さらに、本学の教育研究組織の運営において、指導的な役割を果たすことができる者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 薬剤師免許、薬学関連領域の博士の学位を有し、大学卒業後15年以上を経、優れた研究業績を有する者。また、本学が別に定める大学院博士課程担当の資格を有する者。
- (2) 薬剤師免許、薬学関連領域の博士の学位を有し、かつ前号に準じる学識、経歴があると認められる者。

3. 教育内容

- (1) 学部教育：薬学教育モデル・コアカリキュラムのE1およびE2領域をカバーする科目（主に病態・薬物治療学関連科目）及び特別演習・実習（卒業研究）を担当する。他に、早期体験学習、医療薬学導入学習、統合薬学演習、薬学総合演習などを担当または分担することがある。
- (2) 大学院教育：大学院薬学研究科薬学専攻博士課程並びに大学院薬学研究科薬科学専攻博士前期課程及び後期課程における教育・研究指導を担当する。

4. 現在の研究室と教員構成

現在は2つの研究室として運用されており、准教授3名（2023年3月末1名退任予定）、助教1名が在籍している。主として、以下の研究を行っている。

- ・チアミン誘導体による酸化ストレス防御と睡眠調節メカニズムに関する研究
- ・薬物の適正使用に関する研究（重篤副作用の発症機序の解明およびその予測・予防に関する研究）

なお、本学においては、他に薬物治療学Ⅱ研究室があり、中枢神経疾患領域の研究を行っている。

5. 提出書類（各1部、A4版）

- (1) 履歴書（写真貼付、別紙様式1-1）
- (2) 研究業績一覧表（別紙様式3）
- (3) 主要論文（研究業績一覧表に記載した原著、総説、著書のうち主なもの10編以内）の目録・要旨（別紙様式4）と別刷
- (4) 科学研究費等研究助成実績（別紙様式5）
- (5) 研究業績の概要と今後の研究に対する抱負（主要論文の位置付け、成果の評価、具体的な研究計画と期待される成果などを含む、2000字程度、別紙様式6-1）
- (6) 教育経験の概要と薬学教育に対する抱負（薬剤師養成教育に関する考えを含む、2000字程度、別紙様式6-2）
- (7) 大学運営への参加実績と今後の大学運営に対する抱負（大学運営における役員・委員歴（入

試出題委員を含む)、大学運営に関しての将来像に対する抱負など。大学運営における委員歴等がない場合は抱負のみで可) (様式任意)

(8) 社会貢献活動実績 (各種法人、協会及び学会・研究会などの団体の役員・委員歴、行政機関における審議会・懇談会などの委員歴、法人・協会や行政機関などにおける一般的講演 (教育研修、市民講座など) 歴、国際交流 (外国人研究生受け入れなど) など。特筆すべき社会貢献活動がない場合は不要) (様式任意)

(9) 推薦書 (様式任意、自薦の場合は不要)

(10) 教育・研究内容等に関し照会可能な者2名の氏名、連絡先及び本人との関係 (様式任意)

※提出書類は、必ず本学指定の様式に従って作成してください。

なお、大阪医科薬科大学ホームページ (<https://www.ompu.ac.jp>) の「採用情報」から各様式をダウンロードできます。

5. 応募期限

2022年9月30日(金) 必着

7. 書類提出 (郵送) 先及び問い合わせ先

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1

大阪医科薬科大学 薬物治療学 I 教授人事選考委員会 委員長 福森 亮雄

Tel:072-690-1060 E-mail: akio.fukumori@ompu.ac.jp

* 提出書類は原則として郵送 (簡易書留) とし、封筒の表に「薬物治療学 I 担当教授 応募書類在中」と朱書してください。(ご提出いただいた書類は返却いたしません。)

* 事務的な内容についての問い合わせは、下記までご連絡をお願いします。

総務課長 垣貫 健

Tel:072-690-1010 E-mail:p-somu@ompu.ac.jp

8. 付記

書類選考の上、研究と教育に対する抱負に関するプレゼンテーション、病態・薬物治療学関連領域の模擬講義、及び質疑応答 (それぞれ20分、合計60分以内) をしていただくことがあります。詳細は後日ご連絡いたします。

なお、本学部では任期制を導入しています。

以 上

【大阪医科薬科大学 求める教員像】

- 優れた人格と豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める者
- 専攻分野について、優れた教育研究指導上の能力と実績及び経験を有し、教育及び研究に対して明確な抱負を持つ者
- 各学部及び各研究科の「学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)、入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)」の重要性を理解し、教育研究活動を推進できる者
- 高い倫理観・道徳観に基づき、公正・公平な教育研究活動と真摯な学生支援が行える者
- 地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心と熱意を持って活躍し、新たな研究分野の開拓に取り組める者
- 社会貢献の意識が高く、教育研究成果を社会に積極的に還元できる者
- 自己の資質向上を目的に、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続け、また、他者と円滑に協働できる者
- 大学をめぐる社会的動向への関心を有し、大学の発展のために協調性をもって自律的、主体的に大学運営に参画できる者